

棚田地域の総合保全対策事業 実績と今後の計画

令和2年7月14日（火）
滋賀県 農政水産部 農村振興課

棚田

- 山の斜面や谷間傾斜地（主傾斜が1/20以上）に階段状に作られた水田。
- 滋賀県の田面積47,550haのうち、棚田地域は約2,200ha



高島市畑地区

棚田の機能



農林水産省ホームページ：農業・農村の有する多面的機能(https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/)より

棚田地域の総合保全対策事業

○趣旨

棚田地域の多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、「棚田地域水と土保全基金」を造成し、その運用益等により都市住民等の活動参加ネットワークの構築・運営、地域住民活動を推進する人材の育成、施設や農地の保全および保全整備等の促進に対する支援を行う。

国の事業

・県、市町における保全対策、推進方策の検討、国内外の先進事例の調査研究等



指導・連携

県基金事業

・棚田地域水と土保全基金

基金造成額：4.5億円（国1/3、県2/3：H10～H12）

基金残高 令和元年度末：4.0億円

①保全ネットワーク推進事業 ②保全活動推進事業 ③保全活動支援事業

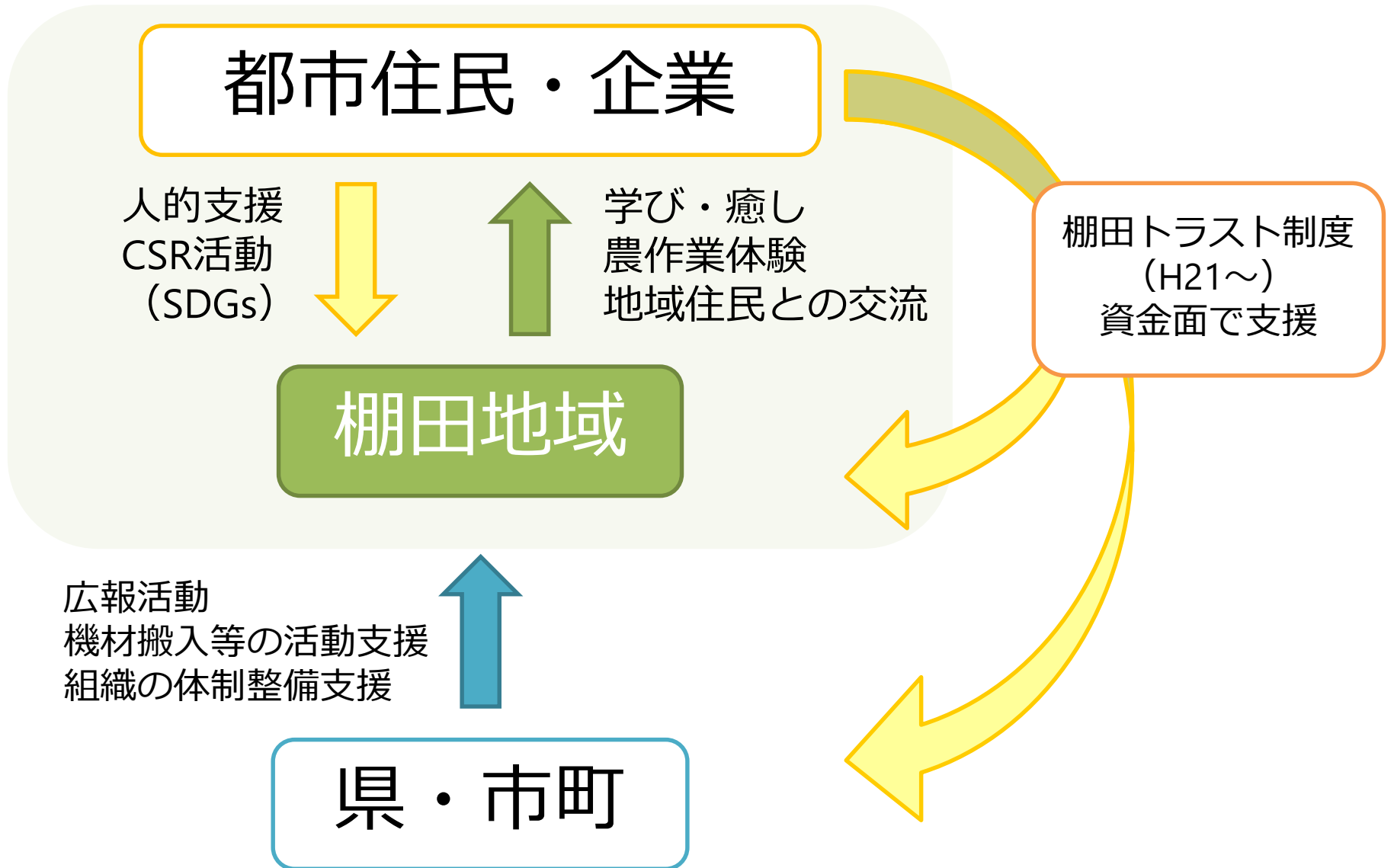


指導・連携

★市町

・集落共同活動の支援等
・ふるさと水と土推進員の育成

しが棚田ボランティア制度（H16～）



事業実施計画の成果目標（H27～R1）

計画後の目指す姿

集落の課題に対する話し合いを進め、担い手をはじめ集落の農業者と住民が互いに支え合い、企業や大学、NPO等と協働し、地域資源を活かした協働活動支援等により、地域の創意工夫による農村活性化を目指す。

棚田地域の総合保全対策

事業区分	事業内容	当計画における成果目標
保全ネットワーク推進事業	棚田の魅力発信やボランティア参加の募集および保全活動の支援	支援地区 ※棚田ボランティア活動実施地区 10 → 12地区
		自律的活動地区 ※活動組織が独自にボランティア募集等を実施している地区数 0 → 4地区

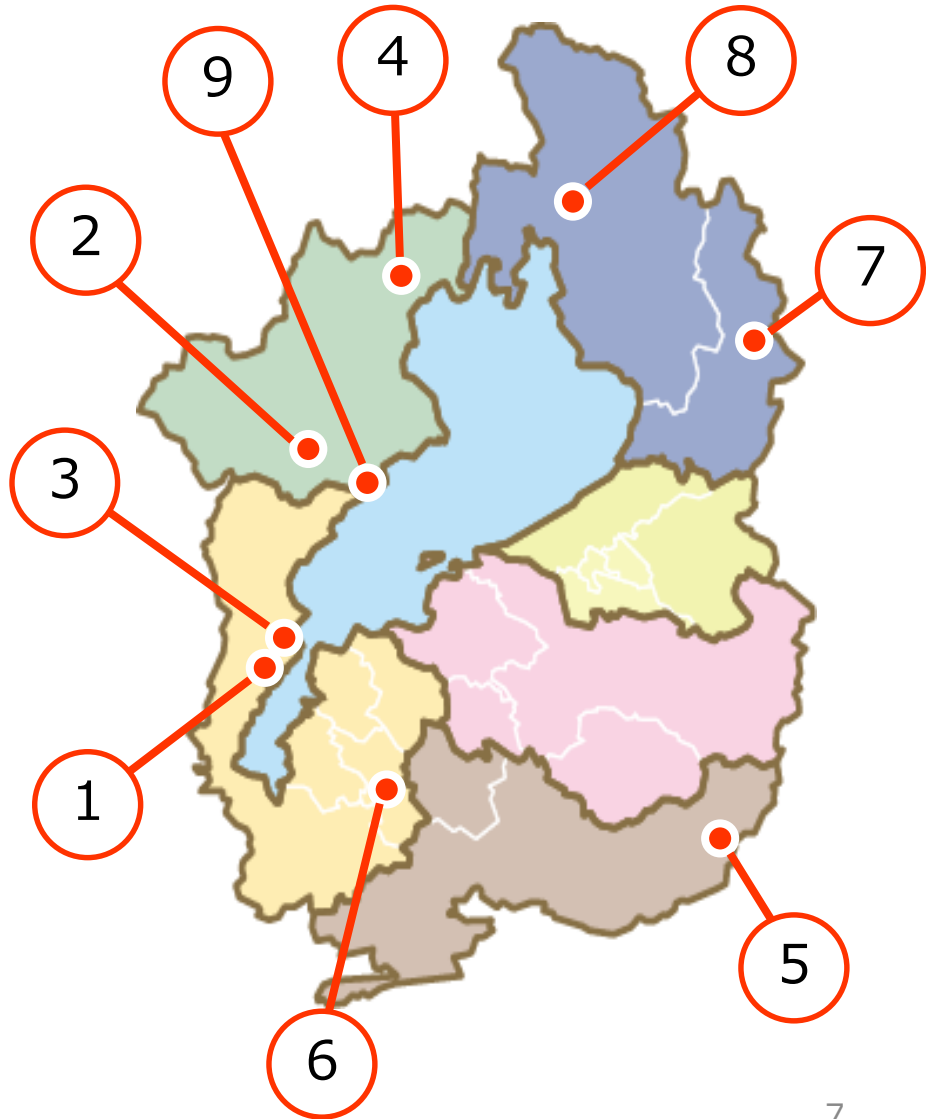
しが棚田ボランティア活動の取組状況

取組地区

1.平尾地区	(大津市)	H16～
2.畑地区	(高島市)	H18～
3.上仰木地区	(大津市)	H21～
4.森西地区	(高島市)	H24～
5.山女原地区	(甲賀市)	H24～
6.走井地区	(栗東市)	H26～
7.小泉地区	(米原市)	H26～
8.池原地区	(長浜市)	H29～
9.鵜川地区	(高島市)	H30～

取組地区

10.大河原地区	(甲賀市)	H19～24
11.曲谷地区	(米原市)	H18～28
12.熊野地区	(日野町)	H20～29



しが棚田ボランティア活動の取組状況

畑地区

- ・棚田百選に選定された棚田を保全するため、休耕田の草刈り等を実施

【高島市】

平尾地区

- ・棚田オーナー制度を始めとした棚田の保全活動を実施



【大津市】

上仰木地区

- ・大学と連携し草刈り等の棚田の保全活動を実施



【大津市】

森西地区

- ・草刈りや水路清掃、電気柵の補修等の活動を実施



【高島市】

あけびはら

山女原地区

- ・クルミの植栽やヒマワリの栽培、カブトムシドームの運営



【甲賀市】



しが棚田ボランティア活動の取組状況

鵜川地区

- ・耕作放棄田を復旧させ、棚田オーナー制度等による保全活動を実施



【高島市】

池原地区

- ・大学と連携し草刈り等の棚田の保全活動を実施



【長浜市】

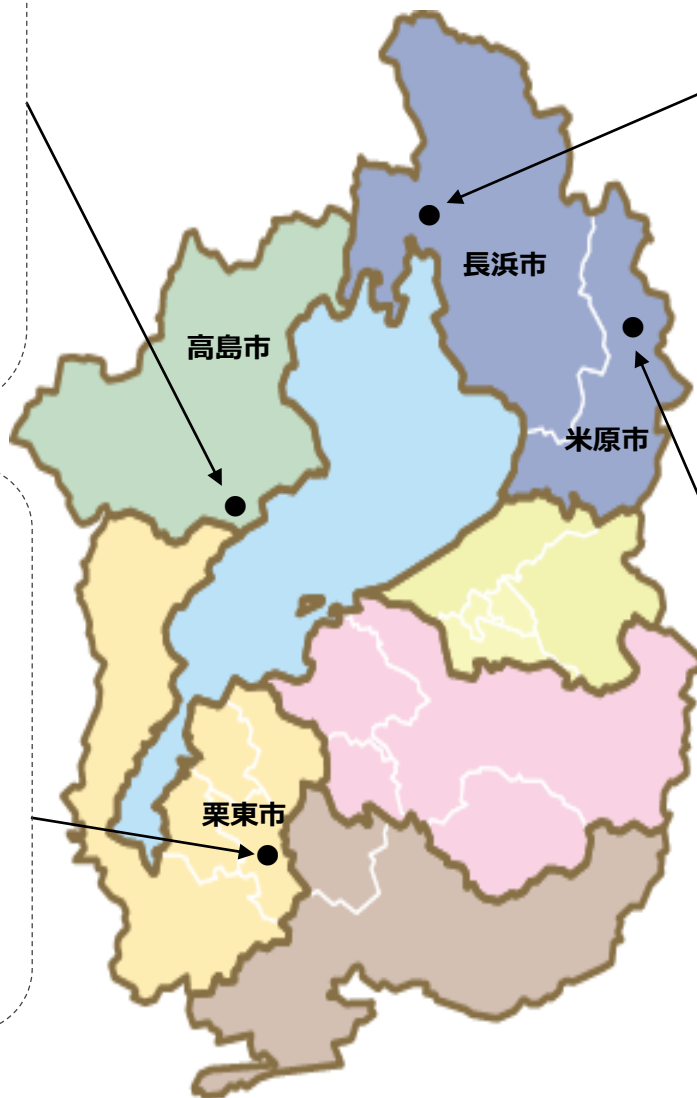
はしり

走井地区

- ・草刈りや紫陽花ロードの整備のほか、地域で収穫祭を開催



【栗東市】



小泉地区

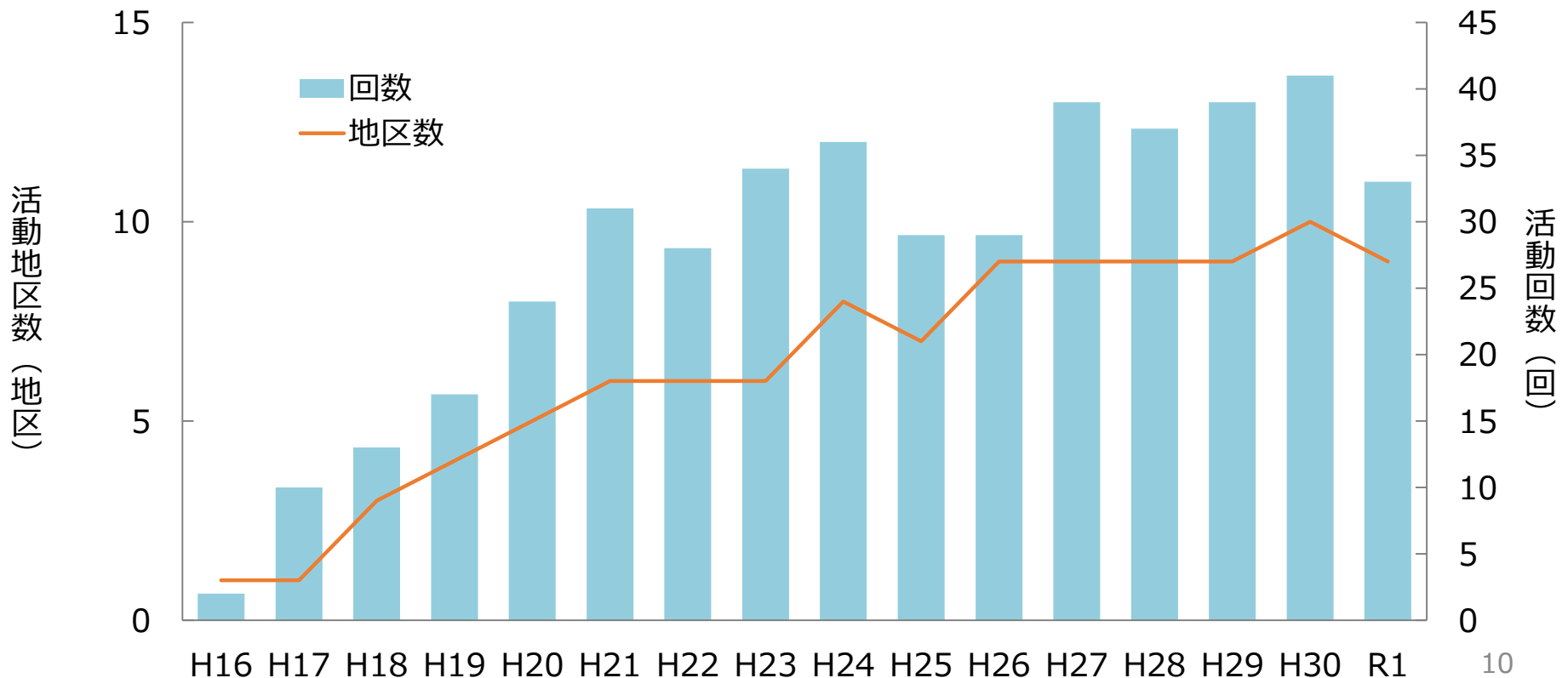
- ・耕作放棄田の復旧等の棚田保全活動の他、体験メニューの提供



【米原市】

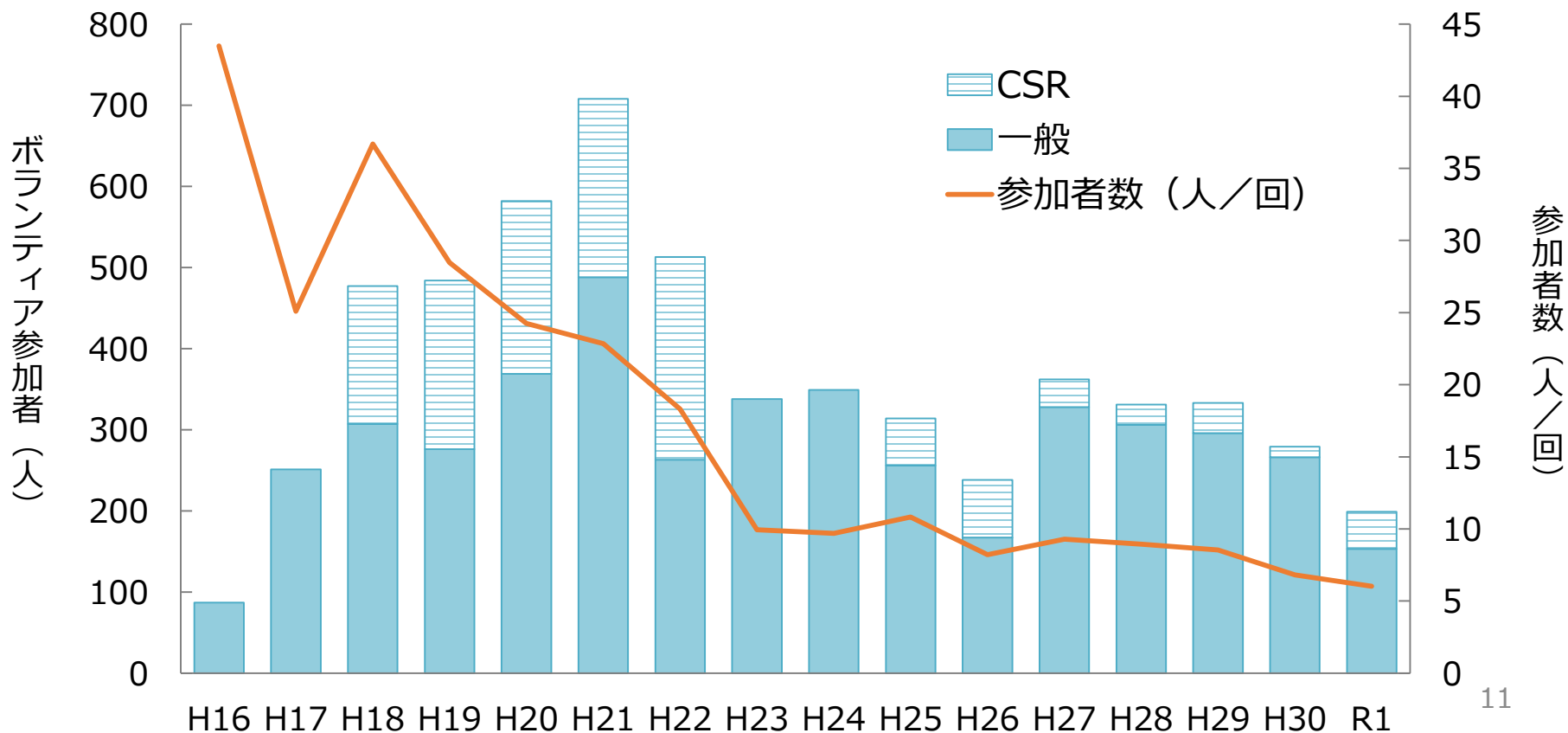
棚田ボランティア活動地区数と活動回数

- 活動地区数：累計12地区（R1年度 9地区）
- 活動回数：累計442回（R1年度 33回）
- R1年度は台風等の影響で活動回数が減少



棚田ボランティア活動参加者数

- 累計 5,845人 うち、一般参加者 4,500人
企業・大学等 1,345人
- 1回あたりの参加者数は減少傾向



しが棚田地域交流・研修会（第9回）

日時：令和元年11月30日（土曜日）

場所：余呉まちづくりセンター（長浜市）

内容：各地区の取組紹介、現地視察

意見交換（これまで行ってきたこと、今後やってみたいこと）



地区での取組紹介



池原地区の棚田の見学

しが棚田地域交流・研修会（第9回）

効果

- 若い人とのつながりによる地域の活性化
- 地域の農産物の販売促進による地域の活性化
- リピーターができた

課題

- 参加者を増やしたい
- リピーターを増やしたい
- 企業や大学と連携したい



意見交換会

しが棚田地域交流・研修会（第9回）

今後の対応

- 棚田ボランティア活動の推進
- 活動内容の検討
- 滋賀棚田地域交流・研修会を継続して実施
- 企業・大学との連携、参画を推進
- 情報発信の強化

目標達成状況（H27～R1）

棚田地域の総合保全対策

事業区分	事業内容	当計画における成果目標
保全ネットワーク推進事業	棚田の魅力発信やボランティア参加の募集および保全活動の支援	<p>支援地区 ※棚田ボランティア活動実施地区 目標：10 → 12地区 実績：累計12地区</p> <p>■引き続き、新規地区の掘り起こしを行う。</p> <hr/> <p>自律的活動地区 ※活動組織が独自にボランティア募集等を実施している地区数 目標：0 → 4地区 累計：4地区</p> <p>■活動地区の課題や現状を整理し、取組地域への支援を行う。</p>

事業実施計画（R2～R6）

事業実施の基本方針

- ・ 中山間地域等直接支払制度等の活用と合わせ、「滋賀県中山間地域振興の手引き」に基づき、集落への助言や活動支援、人材の育成、企業や大学等との協働活動の推進、関係人口増加のためのPR等を通じて、中山間地域に対する総合的な支援を実施。

目指す姿

- ・ 地域を牽引する人材が育成され、地域資源を活かした住民主体の活動が各地で展開される。
- ・ 中山間地域における協働活動やボランティア活動に参加する企業や大学、都市住民といった関係人口が増加する。
- ・ これらを通じて中山間地域が活性化し、農地等が保全され多面的機能が発揮される。

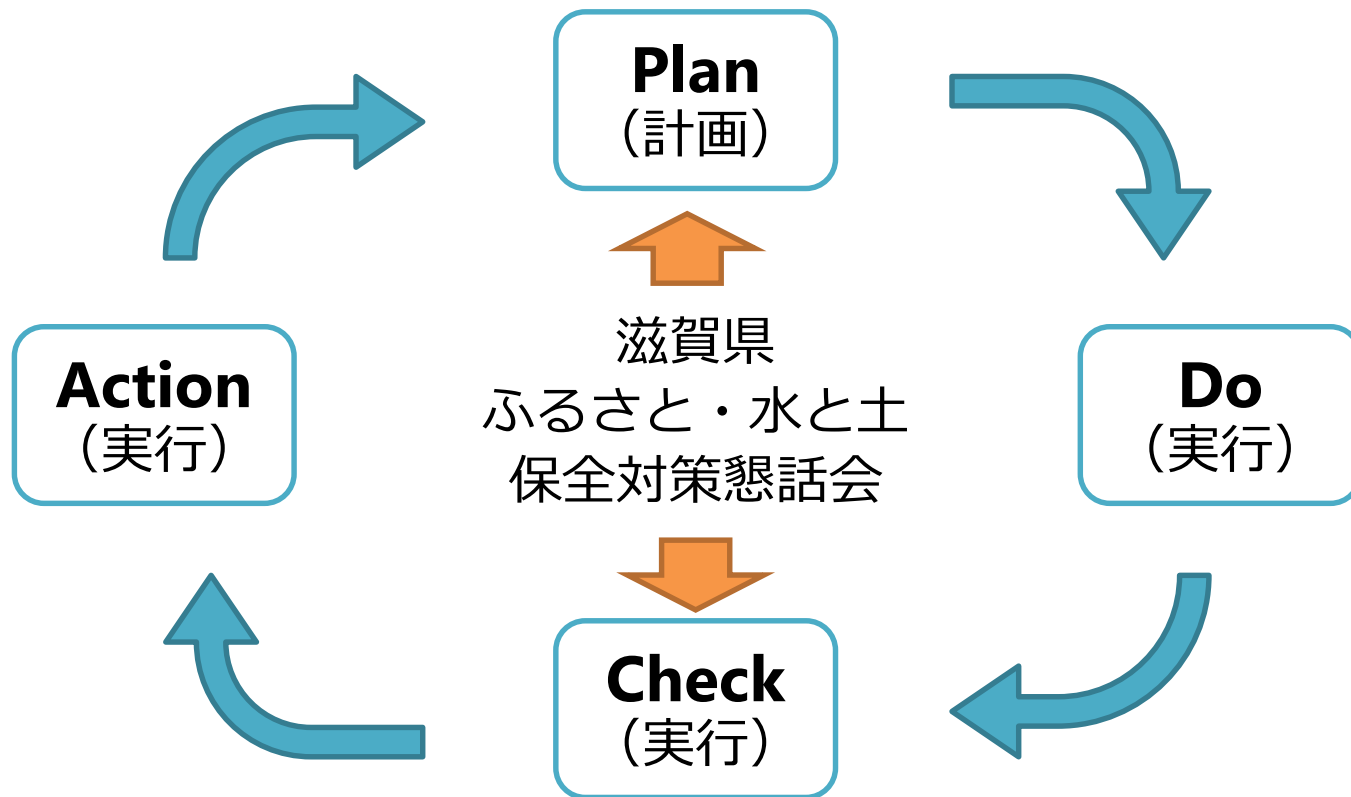
事業実施計画（R2～R6）

棚田地域の総合保全対策

事業区分	事業内容	当計画における成果目標	
保全ネットワーク推進事業	・ 棚田ボランティア活動実施地区の現状把握のため、活動の課題や今後の方向性等のアンケート調査を実施・検討	調査を実施	県内9地区
	・ 関係人口の増加に向けた地域への支援策を検討。 ・ 活動実施地区のネットワーク化 ・ PR資材の作成等、各活動地区のPR	棚田ボランティア参加者数の増加	5年間で累計1,600人

今後の進め方

計画に沿って事業を進めながら、「ふるさと・水と土保全対策懇話会」において評価を受け、計画に反映させながら対策を実施する。



農業・農村の多面的機能の維持、中山間地域の活性化